

South
Highways
Office

2008 平成20年度
事業概要

内閣府
沖縄総合事務局
南部国道事務所

沖縄を支える道づくり

「活力 ～自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり～」、「安全 ～安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり～」、「環境 ～沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出～」、「暮らし ～特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり～」のテーマを実現するため、他の行政分野と連携を図りつつ、重点的かつ計画的に道路整備を進めます。



尚巴志ハーフマラソン大会 in 南城市

海洋博関連事業の着手 (S47)
若夏国体 (S48.5)
58号 拡幅整備着手 (S48.9)
331号 垣花～通堂拡幅整備着手 (S49)
沖縄国際海洋博覧会 (S50.7)
329号 拡幅整備着手 (S51)

730交通方法変更 (S53)
331号 港川局改工事着手 (S54)
330号 石平橋工事着手 (S55)
331号 垣花立体工事着手 (S56)

S47
S47.5.15
本土復帰

第7次道路整備
五箇年計画
S48～S52

第8次道路整備
五箇年計画
S53～S57

第9次道路整備
五箇年計画
S58～S62

第10次道路整備
五箇年計画
S63～H4

第11次道路整備
五箇年計画
H5～H9

新道路
五箇年計画
H10～H14

社会資本整備
重点計画
H15～H19

沖縄振興計画
H14～H23

第一次沖縄振興開発計画
S47～S56

58号 仲泊～那覇拡幅整備 (S50.6)
331号 垣花～通堂拡幅整備 (S50.6)

329号 旭橋完成 (S55)
330号 石平橋架替完成 (S55)

331号 垣花立体完成 (S59.3)
331号 港川局改完成 (S62.2)
331号 川尻橋架替完成 (S62.3)
58号 明治橋架替完成 (S62.3)
331号 小禄拡幅完成 (S62.3)
58号 宜野湾バイパス 暫定2車部分完成 (S62.9)
330号 西原局改暫定2車完成 (S62.10)

331号 小禄バイパス完成 (H1.12)
330号 西原局改完成 (H2.3)
58号 安謝立体暫定一部供用 (H3.4)
329号 漫湖改良・那覇東バイパス 部分供用 (H4.4)

国道の移り変わり



那覇まつり (那覇大綱挽)

沖縄サミット開催 (H12.7)

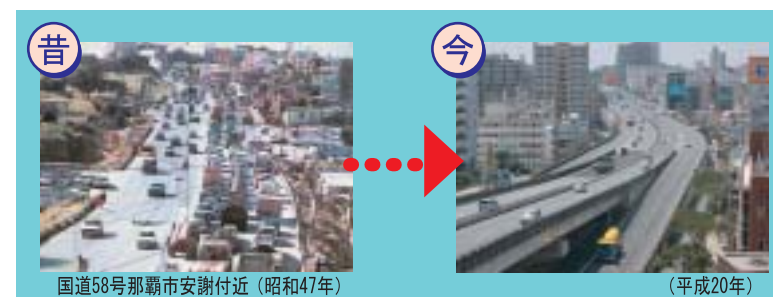
全国植樹祭 (H5.4)
506号 那覇空港自動車道
豊見城東道路工事着手 (H9.3)

第三次沖縄振興開発計画
H4～H13

58号 牧港立体完成 (H10.3)
329号 那覇東バイパス
暫定4車供用 (H11.8)
58号 宜野湾バイパス全線供用
〔牧港地区暫定形〕 (H12.3)
506号 那覇空港自動車道
南風原道路供用 (H12.6)

329号 とよみ大橋完成 (H5.11)
331号 名城バイパス完成 (H6.12)
329号 那覇東バイパス部分供用 (H7.3)
331号 百名改良完成 (H8.3)
329号 那覇東バイパス 全線暫定供用 (H8.3)

糸満道路部分暫定供用 (H14.4)
豊見城東道路部分暫定供用 (H15.4)
読谷道路部分暫定供用 (H15.4)
豊見城道路部分暫定供用 (H16.3)
南風原バイパス部分暫定供用 (H16.5)
豊見城道路部分暫定供用 (H18.2)
与那原バイパス部分暫定供用 (H18.3)
南風原バイパス部分暫定供用 (H18.3)
豊見城道路全線暫定供用 (H19.3)
豊見城東道路全線暫定供用 (H20.3)



南部国道事務所
2008事業概要

Contents

1. 南部国道事務所の管理路線 P2

2. 南部国道事務所管内の現状 P2

- 社会経済指標
- 道路・交通の現状
- 現状の道路特性

3. 南部国道事務所管内の現状 P4

- 改築調査
- 交通安全
- 用地
- 管理
- 情報・通信

4. 国道の植栽 P15

5. 南部国道事務所管内の概要 P16

参考資料 P17

道は社会の発展とともに
新しい表情を造り出します

南部国道事務所は、沖縄本島の中南部地域における一般国道58号・329号・330号・331号・332号・506号(那覇空港自動車道)の6路線(158.8km)の管理、改築を実施しています。

改築事業としては、高規格幹線道路(一般国道506号那覇空港自動車道)をはじめ、地域高規格道路(沖縄西海岸道路)一般2次改築(与那原バイパス・南風原バイパス、摩文仁改良中山改良)等の事業を実施中です。

管内には、人口約30万人の県都那覇市をはじめ、沖縄市浦添市、宜野湾市、糸満市、豊見城市、南城市等の都市があり県人口の約8割が集中しています。

当事務所は、安全で円滑・快適な道路交通を確保し地域住民の生活の安定、向上、産業の振興発展を図るため鋭意事業を進めているところです。



一般国道直轄指定区間(南部国道事務所指定区間：平成20年4月末現在) (単位：Km)

沖縄総合事務局管内直轄指定区間			南部国道事務所指定区間				管理区間			
路線名	区間	国道実延長	区間	総延長	重複延長	実延長	与那原維持出張所		嘉手納国道出張所	
							管理延長	通過市町村	管理延長	通過市町村
58	鹿児島市 那覇市	(6.585) 123.425	読谷村字親志原446番1 那覇市奥武山町51番	(5.975) 29.721	0	(5.975) 29.721	4.179	那覇市	(5.975) 25.542	読谷村、嘉手納町 北谷町、宜野湾市、浦添市
329	名護市 那覇市	(9.675) 77.495	うるま市栄野比安城原1037-1 那覇市旭町46番	(1.296) 35.285	0	(1.296) 35.285	(1.043) 14.576	西原町、与那原町、南風原町 豊見城市、那覇市	(0.253) 20.709	沖縄市、北中城村 中城村
330	沖縄市 那覇市	(0) 20.535	沖縄市照屋1丁目29番 那覇市古島1丁目26番1	20.535	0	20.535	7.635	宜野湾市 浦添市、那覇市	12.900	沖縄市、北中城村 宜野湾市、浦添市
331	那覇市 名護市	(5.272) 50.156	那覇市奥武山町51番 うるま市栄野比安城原1037-1	(5.272) 75.745	25.589 (329号)	(5.272) 50.156	(5.272) 50.156	那覇市、豊見城市、糸満市 八重瀬町、南城市、与那原町	――	――
332	那覇空港 那覇市	(0) 2.200	那覇市字鏡水崎原307番 同市垣花町8番7	3.100	0.900 (331号)	2.200	2.200	那覇市	――	――
506	豊見城市 西原町	11.965	豊見城市字名嘉地屋無垣原139番の3 西原町字池田田味名474番3	11.965	0	5.984	5.984	豊見城市、八重瀬町 南風原町	――	――
計		21.532 285.776		(12.543) 176.351	26.489	(12.543) 143.881	(6.315) 84.730		(6.228) 54.151	
							156.424			

注)上段()は外書でダブルウェイ(バイパス・旧道)区間の延長である。
国道実延長は、沖縄総合事務局管内(北部国道事務所含む)の指定区間管理延長である。
※1:宜野湾バイパス他 ※2:那覇東バイパス他 ※3:豊見城道路・糸満道路他

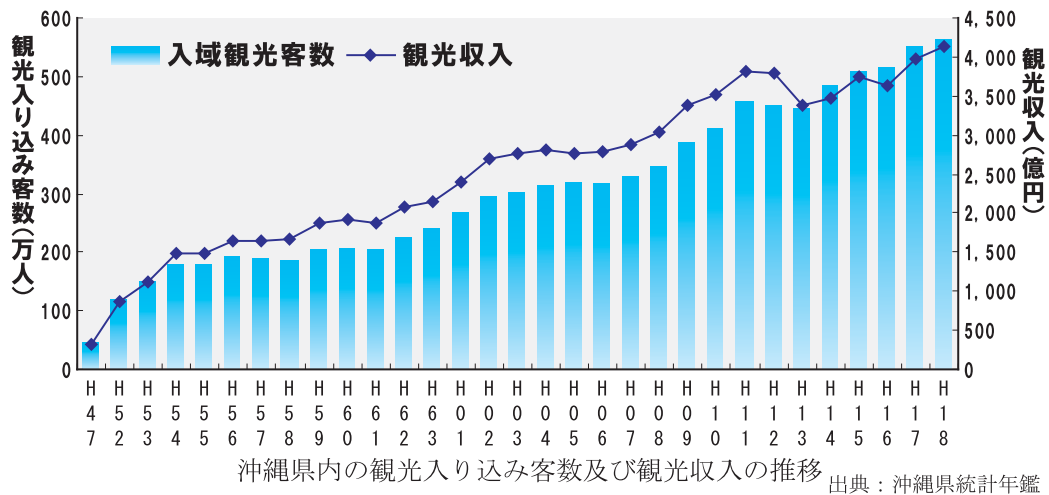
■管内市町村別面積
世帯数・人口

南部国道事務所管内に、沖縄県全体の7割が居住しています。

管内の人口状況では那覇市や周辺市町村に人口が集中しています。

管内市町村別面積世帯数・人口						
面積 (km ²)				世帯数	人口	
那	覇	市		39.04	122,613	312,393
宜	野	湾	市	19.69	34,738	89,769
浦	添		市	19.09	38,314	106,049
糸	満		市	46.63	17,703	55,816
沖	縄		市	49.00	44,650	126,400
豊	見	城	市	19.45	16,688	52,516
南	城		市	49.70	11,561	39,651
読	谷		村	35.17	11,803	37,306
嘉	手	納	町	15.04	4,667	13,629
北	谷		町	13.63	9,309	26,848
北	中	城	村	11.53	5,096	15,790
中	城		村	15.46	5,333	15,798
西	原		町	15.84	11,280	33,733
八	重	瀬	町	26.90	7,424	25,121
与	那	原	町	4.87	5,138	15,343
南	風	原	町	10.72	10,184	33,537
沖	縄	全	県	2,274.59	488,368	1,361,594
管	内	合	計	391.76	356,501	999,699

出典：平成17年国勢調査



沖縄県内の観光入り込み客数及び観光収入の推移 出典：沖縄県統計年鑑

■観光入り込み客数
及び観光収入

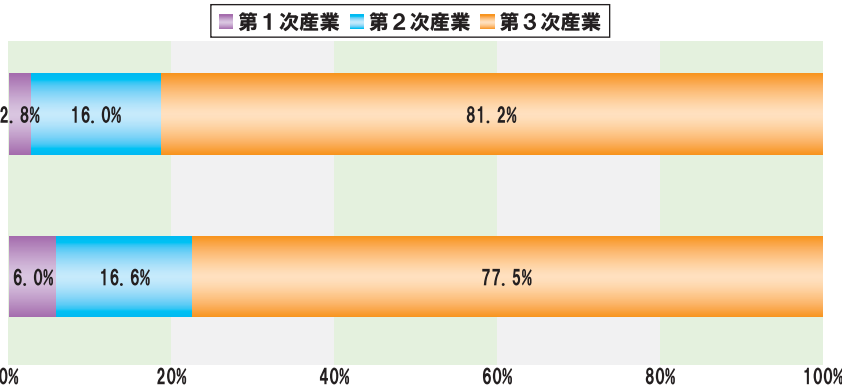
沖縄県の観光入り込み客数及び観光収入は右肩上がりの増加を示しています。

■産業構成

南部国道管内は、全県の就労人口の7割を占めるとともに、第3次産業が発達している、という特色を有しています。

南部国道管内
(39.9万人)

沖縄県
(55.2万人)



南部国道管内及び沖縄県の産業別人口比 出典：沖縄県統計年鑑

南部国道事務所管内の現状

■沖縄県の道路整備状況

沖縄県の道路整備状況は、一般国道指定区間の整備率が、全国と比べると遅れている状況です。

■沖縄県の自動車保有台数

沖縄県の自動車保有台数は増加傾向が続いている状況です。

また、レンタカー台数についても右肩上がりの増加を示しています。

■南部国道管内の交通状況

南部国道管内の交通は、那覇都市圏に集中している状況です。

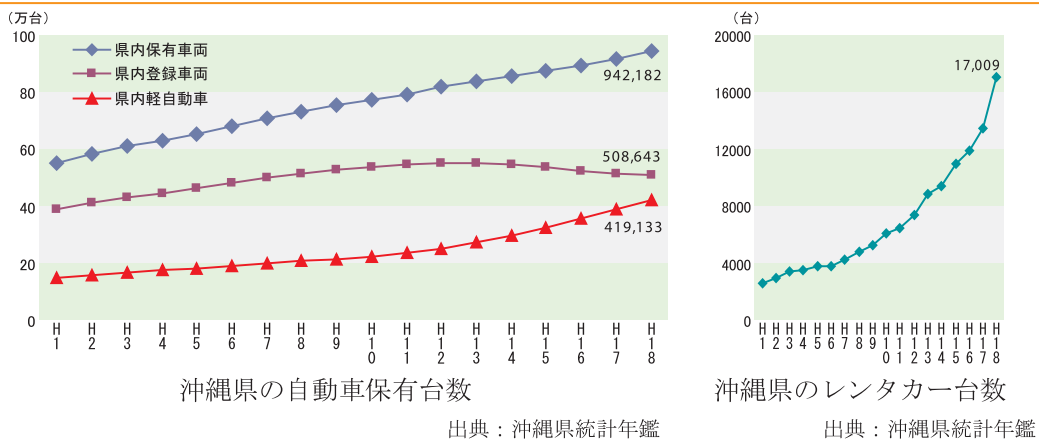
路線別で見ると、国道58号、国道330号への集中が顕著となっています。

道路・交通の現状

沖縄県の道路整備状況								
道路種別	実延長 (km)		整備率 (%)			舗装率 (%)		
	全国	沖縄	全国	沖縄	格差	全国	沖縄	格差
高速自動車国道	7,392.2	57.3	—	—	—	100.0	100.0	100
一般国道計	54,346.9	472.6	59.6	60.1	101	90.3	97.4	108
指定区間	22,363.4	310.5	54.1	45.6	84	98.4	100.0	102
指定区間外	31,983.5	162.1	63.4	87.9	139	84.7	92.4	109
県道計	129,293.5	1,023.6	55.1	72.9	132	60.4	86.3	143
主要地方道	57,903.3	397.1	59.1	71.4	121	70.8	92.4	131
一般県道	71,390.2	626.5	51.9	73.8	142	51.9	82.4	159
国・県道計	183,640.4	1,496.3	56.4	68.8	122	69.2	89.8	130
市町村道	1,005,975.3	6,315.4	55.0	61.2	111	17.8	37.6	211
一般道路計	1,189,615.7	7,811.7	55.2	62.7	114	25.8	47.6	184
合計	1,197,007.9	7,869.1	—	—	—	26.2	48.0	183

注1 市町村道整備率については、改良済延長で算出したものである。
2 舗装率は、簡易舗装を除いた率である。

出典：道路統計年報（2007）



現状の道路特性



■慢性化する渋滞

沖縄県の1km当たり渋滞損失時間は4.1万人時間／年・キロと全国平均の2倍以上で、全国ワースト6位の低水準（3大都市圏以外の都道府県では最も大きい）となっており、全国的に渋滞が著しい地域となっています。

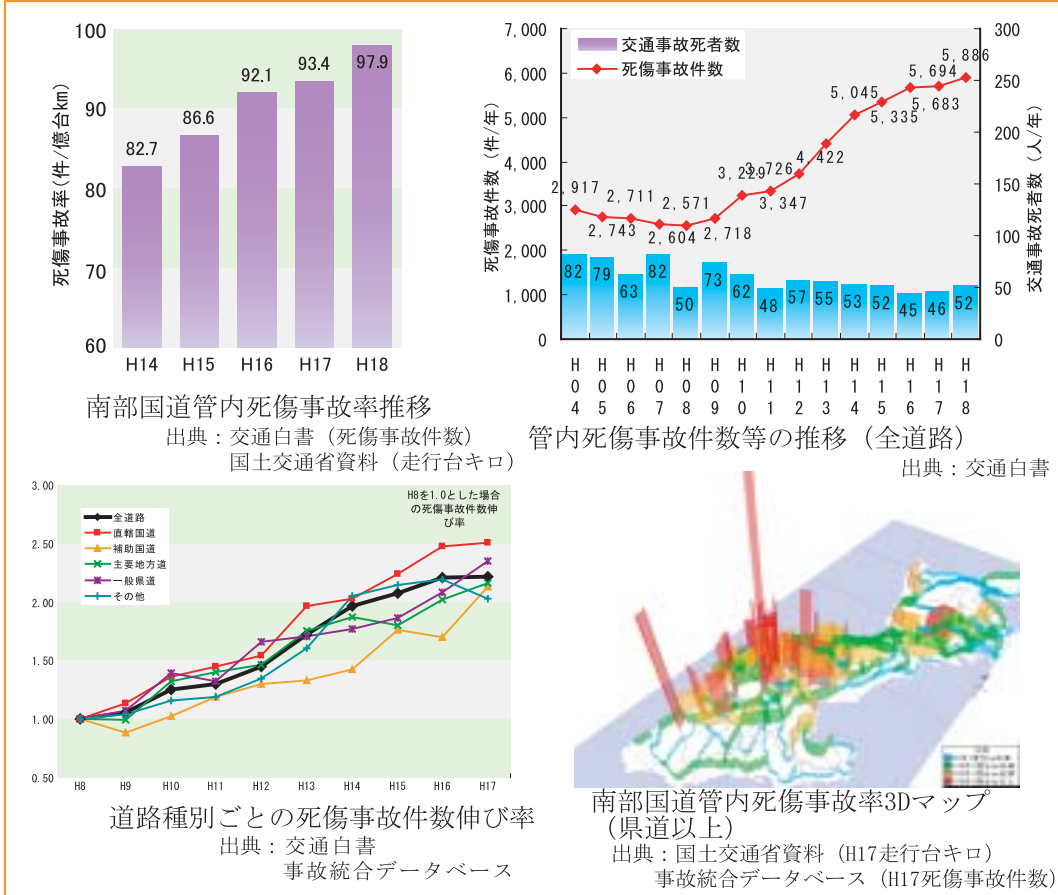
センサス区間別キロあたり渋滞損失時間では、国道58号にてワースト10区間中7区間を占め、渋滞の著しい状況です。

■交通安全

南部国道管内の交通事故死者数は横ばい傾向にあるものの、死傷事故件数は年々増加しています。

これに伴い死傷事故率も増加傾向にあり、交通事故への対応が不可欠となっています。

また、直轄国道では一貫して全道路の増加率を上回って推移しており、特に那覇市やその周辺地域における死傷事故率が高くなっています。



県都那覇市をはじめ沖縄県の経済・文化の中心地を管理する南部国道事務所では“沖縄を支える道づくり”の実現に向けた業務遂行を推進していきます。

改築調査 ～5ページ～

調査は、道路及び道路交通の現状、地域の現況を把握することから始まります。

道路交通情勢調査(通称道路交通センサス)は道路交通の現況、自動車の利用実態を調査し、道路の計画、建設、維持管理などについての基礎資料を得ることを目的に実施しています。

さらに地域の土地利用計画との整合を図りながら、路線計画調査や騒音・振動などに対する環境予測調査、対策の検討などを行い、沿道地域との調和のとれた計画を立案しています。



豊見城東道路（平成19年度供用区間）

交通安全 ～12ページ～

交通事故を抑制し、安心安全で円滑な交通を確保する為に交差点改良や道路関連設備（道路標識など）といった取組を推進しています。

また、高齢者などをはじめとしたすべての人が快適に利用できる道路空間の整備に向け歩道整備やバリアフリー整備、バス停整備等の取組を実施しています。

対策前



対策後



国道58号泊交差点
事故対策

用地 ～12ページ～

道路事業の促進にあたっては事業用地の確保が大前提となります。

県内における交通手段は、車両に対する依存度が最も高く、早急な道路整備が望まれており、幹線道路網整備のため高規格道路及び地域高規格道路等の事業用地の取得を行っています。

また、歩行者安全確保の見地から歩道等の交通安全施設の整備も必要となっております。

これらの事業に必要な用地の取得にあたっては「公共用地の取得に伴う一般補償基準」に基づき、公平かつ適正に補償を行っています。

公共用地の取得にあたっては、土地所有者等と十分に話し合いを行い、事業に対する理解と協力を得られるよう誠意をもって任意で協議を進めておりますがどうしても任意で取得できない場合においては、土地収用制度の活用による取得を行います。

管理 ～13ページ～

道路を効率的に末永く利用していく為には、適切な維持管理を実施していくことが重要です。

また、台風の多い沖縄県では、防災対策や災害復旧といった防災面での対応も必要不可欠です。

さらに、観光立県である沖縄県では、景観に配慮した道路空間の確保や、地域住民と一体となった道路管理が重要です。

これら沖縄県の特徴を十分踏まえながら、管理業務を推進しています。



情報・通信 ～14ページ～

安全で快適な歩道空間の確保、都市災害の防止、情報ネットワークの信頼性の向上、都市景観の向上等を目的に電線共同溝の整備を推進します。

また、光ファイバ通信網及び多重無線通信網の二重化による防災情報システムの整備を行い、道路管理に必要な各種情報をオンライン・リアルタイムで収集・蓄積し監視するとともに、それらの情報を道路利用者へ道路情報の提供を行っています。



浦添地区電線共同溝 完成イメージ

改築調査

調査は、道路及び道路交通の現状、地域の現況を把握することから始まります。道路交通情勢調査(通称道路交通センサス)は、道路交通の現況、自動車の利用実態を調査し、道路の計画、建設、維持管理などについての基礎資料を得ることを目的に実施しています。

さらに地域の土地利用計画との整合を図りながら、路線計画調査や騒音・振動などに対する環境予測調査、対策の検討などを行い、沿道地域との調和のとれた計画を立案しています。

調査体系

事業

幹線道路網調査
道路網(幹線ネットワーク等)を整備するための調査

- ・高規格幹線道路調査
- ・地域高規格幹線道路調査等

道路政策調査

それぞれの政策の推進やフォローアップ等に必要な調査

- ・道路政策基礎調査
- ・道路空間利活用調査
- ・交通需要マネジメント推進調査
- ・道路環境調査
- ・道路交通情勢調査

道路政策評価調査

政策評価を推進し、道路事業に関するデータを整備するための調査

道路技術政策総合調査

事業の推進や調査の基盤となる技術等を開発するための調査

- ・技術政策研究調査
- ・ITS関連調査

道路政策推進調査

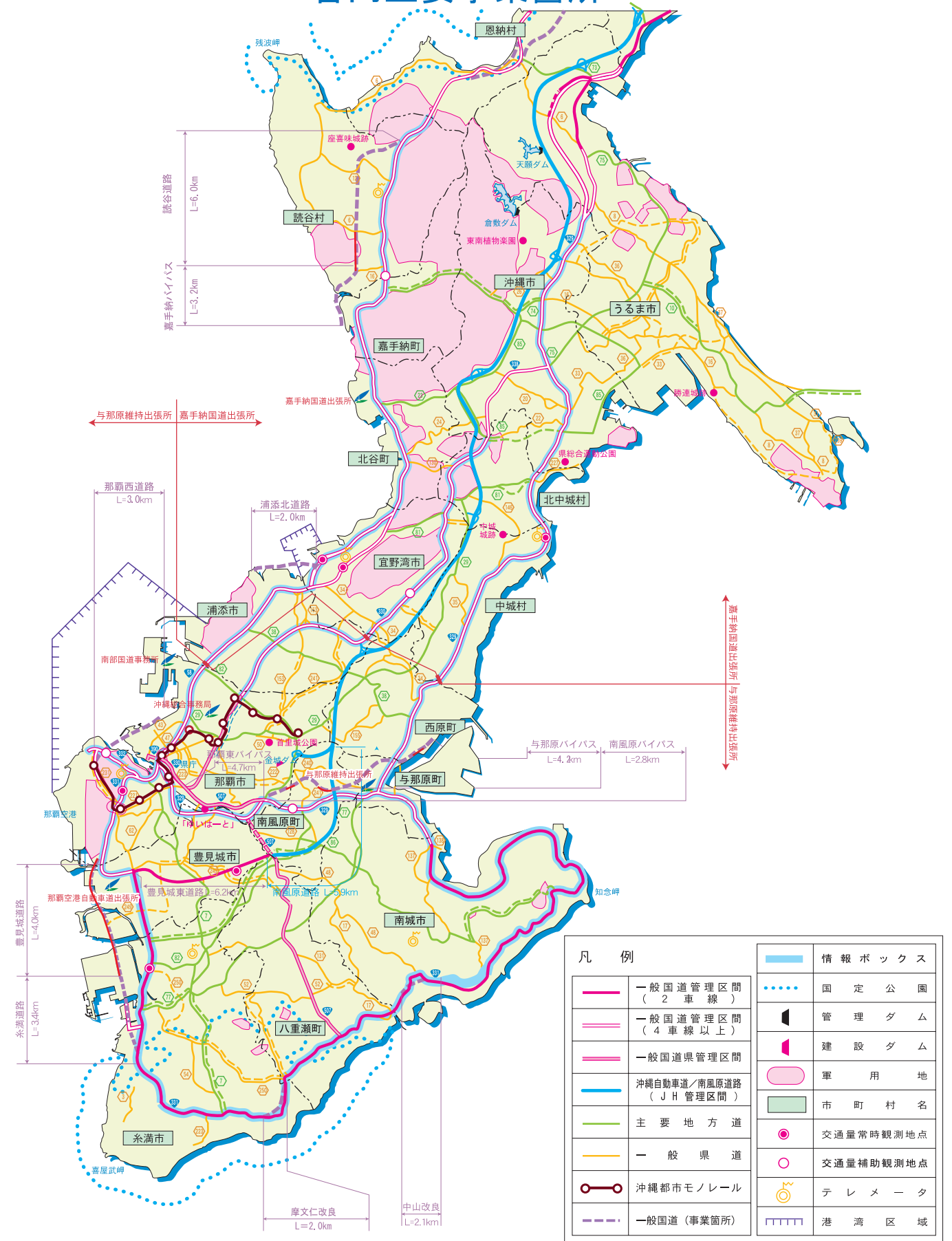
- ・社会実験推進調査 等
- 社会実験を推進するための調査

南部国道事務所では現在、以下に示す11の事業について、供用を目指した取組を推進しています。

事業名		事業箇所	道路規格	延長	車線数
那覇空港自動車道	豊見城東道路	豊見城市	第1種第3級	6.2 km	4車線
沖縄西海岸道路	読谷道路	読谷村	第1種第3級	6.0 km	4車線
	嘉手納バイパス	嘉手納町	第1種第3級	3.2 km	4車線
	浦添北道路	浦添市	第1種第3級	2.0 km	6車線
	那覇西道路	那覇市	第1種第3級	3.0 km	6車線
	豊見城道路	豊見城市	第4種第1級	4.0 km	4車線
	糸満道路	糸満市	第4種第1級	3.4 km	4車線
南風原バイパス		南風原町	第4種第1級	2.8 km	4車線
与那原バイパス		与那原町	第4種第1級	4.2 km	4車線
摩文仁改良		糸満市	第3種第2級	2.0 km	2車線
中山改良		南城市	第3種第2級	2.0 km	2車線

改築調査

管内主要事業箇所



改築調査

高規格幹線道路
那覇空港
自動車道

第四次全国総合開発計画(昭和62年6月)において21世紀に向け多極分散型の国土を形成する為全国で14,000kmの高規格幹線道路網の必要性が提唱されました。

高規格幹線道路網を形成する那覇空港自動車道は、沖縄県最大の広域交通拠点である那覇空港と沖縄自動車道を結び、一般国道の自動車専用道路として昭和62年6月に指定されたものであり、那覇空港と県内各拠点を結ぶ連結機能や交通の集中が著しい那覇都市圏を迂回する環状道路としての機能を有する道路で、沖縄県の経済活性化、観光の振興、高速性定時性の確保などに大きく寄与するものです。



■計画の概要

事業名	延長	連結位置	連結道路名	連結施設名
南風原道路	5.9km	西原町字池田	沖縄自動車道	西原 J C T
		南風原町字与那覇	国道 329 号	南風原北 IC
		南風原町字山川	国道 507 号 BP	南風原南 IC
豊見城東道路	6.2km	豊見城市平良	県道 7 号 線	豊見城 IC
		豊見城市名嘉地	国道 331 号	豊見城・名嘉地 IC
小 禄 道 路	(調査中)			

■事業の経緯

事業の手順	南原道路 (延長5.9km)	豊見城東道路 (延長6.2km)	小禄道路 (延長約8km)
高規格幹線道路指定	S 6 2 . 6 . 3 0	S 6 2 . 6 . 3 0	S 6 2 . 6 . 3 0
基本計画決定	H 1 . 8 . 8	H 1 . 8 . 8	
都市計画決定	H 2 . 7 . 1 7	H 2 . 7 . 1 7	
整備計画決定	H 2 . 1 1 . 1	H 2 . 1 1 . 1	
事業開始	S 6 3 年度	H 3 年度	
用地買収着手	H 2 年度	H 5 年度	
工事着手	H 4 年度	H 8 年度	
完成供用(予定)	H 1 2 . 6	H 2 2 年度予定 (金額暫定供用)	(21世紀初頭)

改築調査

高規格幹線道路
豊見城東道路

豊見城東道路は那覇空港自動車道の一部で、平成20年3月に全線暫定供用を行いました。

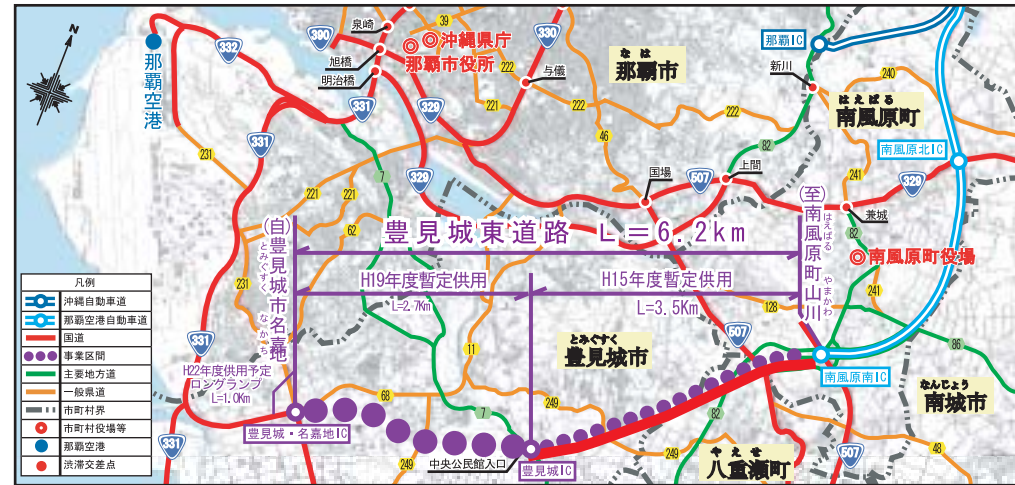
平成20年度以降は
豊見城・名嘉地ICのラ
ンプ延伸に向けた工事
促進を図ります。

お約束プロジェクト対象事業



平成22年度末に
豊見城市名嘉地の
約1.0kmを供用
します

■事業箇所図

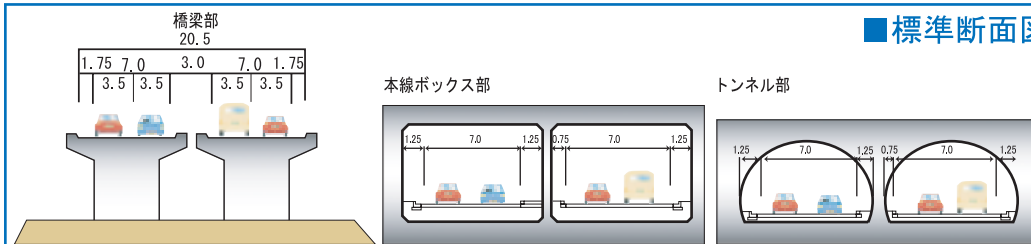


■設計緒元

道 路 規 格	構造物延長
全 体 延 長	6.2km
橋 梁	4.3km (69.4%)
ト ン ネ ル	1.0km (16.1%)
開削トンネル	0.5km (8.1%)
土 工	0.4km (6.4%)

道路規格	第1種 第3級
區間	自：豊見城市名嘉地 至：南風原町山川
延長	6,200 m
設計速度	$V=80$ km/h
車線数	4車線

■標準断面図



■期待される効果

**国道329号那覇市内区
間(現道・B P)の渋滞
が緩和され、渋滞損失
時間が削減！**

現状
(H15) **250** 万人時間/年

17%削減

整備後
(H22) **207** 万人時間/年

那覇空港～名護間の所要時間が削減！

現状 (H15)
124
分

整備後 (H22)
111
分

13分
短縮

那覇空港～最寄りインターチェンジ間の所要時間が短縮！

那覇空港

整備後 (H22)

9分

豊見城東道路

最寄りインターチェンジ

11分短縮

現状 (H15)

20分

※「お約束プロジェクト」パンフレットより



豊見城東道路暫定共用部分
(平成15年)



豊見城東道路暫定共用部分
(平成20年)

改築調査

地域高規格道路
沖縄
西海岸道路

読谷村から糸満市に至る延長約50kmの道路であり、高規格幹線道路である那覇空港自動車道と、那覇空港、那覇港といった広域交通拠点と相互に連絡します。

また、恩納海岸地区(ラブリーサンセットリゾート)南部西海岸地域の産業拠点となる糸満工業団地等と那覇市、空港等を連絡することにより観光の支援、地域の活性化地域振興プロジェクトの支援に資する道路として整備します。



■沖縄西海岸道路計画概要

地区名	豊見城・糸満地区	小禄地区	那覇地区	浦添地区	宜野湾地区	北谷地区	読谷・嘉手納地区
通過市町村名	糸満市		豊見城市・那覇市・浦添市・宜野湾市・北谷町・嘉手納町				読谷村
延長			約50km				
道路の区分	4種1級		1種3級				
設計速度	60km/h		80km/h				
調査、事業化経緯等	糸満道路 L=3.4km H2事業化 豊見城道路 L=4.0km H元 事業化	調査中	那覇西道路 L=3.0km H4 事業化	調査中	浦添北道路 L=2.0km H18事業化	調査中	読谷道路 L=6.0km S62 事業化 嘉手納バイパス L=3.2km S62 事業化

■地域高規格道路とは

地域高規格道路とは高規格幹線道路と一体となって、通勤圏域の拡大や都市と農村地域との連携の強化等による地域集積圏の拡大(連携機能)、高規格幹線道路を補完し、物資の流通、人の交流の活性化を促す地域集積圏間の交流を図り(交流機能)空港・港湾等の広域交流拠点や地域開発拠点等との連絡(連結機能)を図るための道路であり、自動車専用道路またはこれと同程度の機能を有し、高速サービスを提供できる道路として整備します。

高規格幹線道路

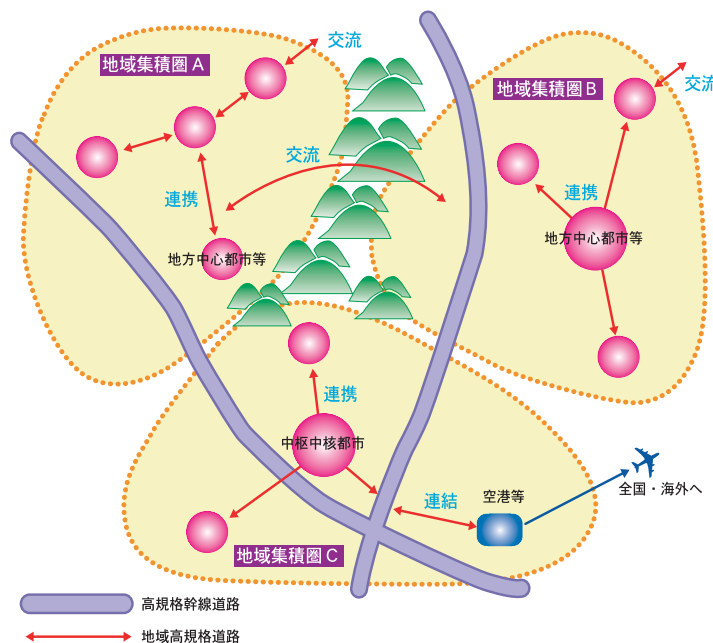
サービス速度80～100 km/h

地域高規格道路

サービス速度60～80km/h

広域的な幹線道路

サービス速度35 km/h程度

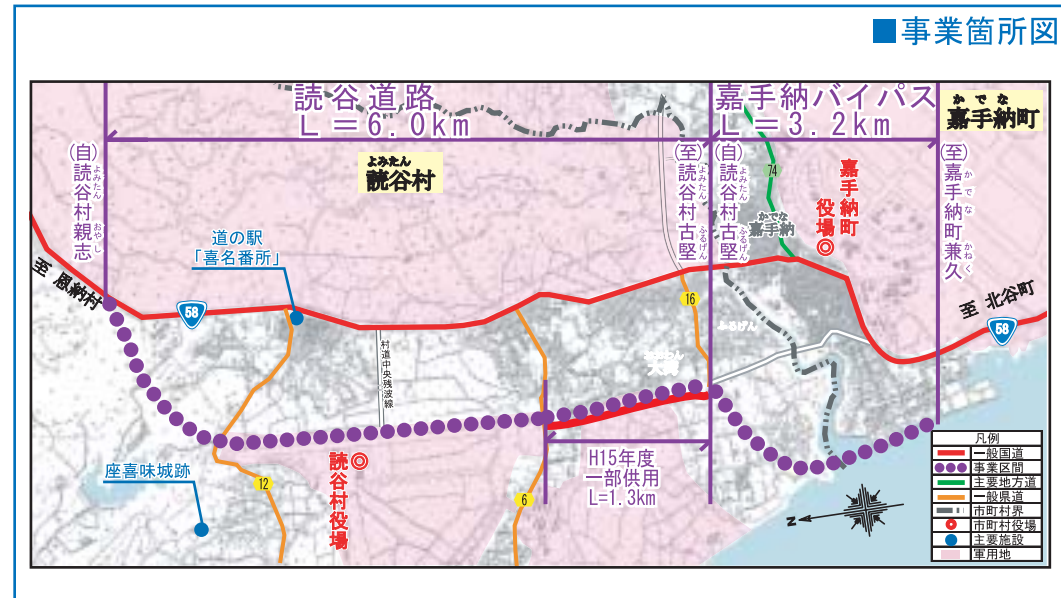


改築調査

地域高規格道路
読谷道路
嘉手納バイパス

読谷村～嘉手納町間の慢性的交通渋滞の解消を図るため計画されたものであり、平成6年度に地域高規格道路に指定されました。

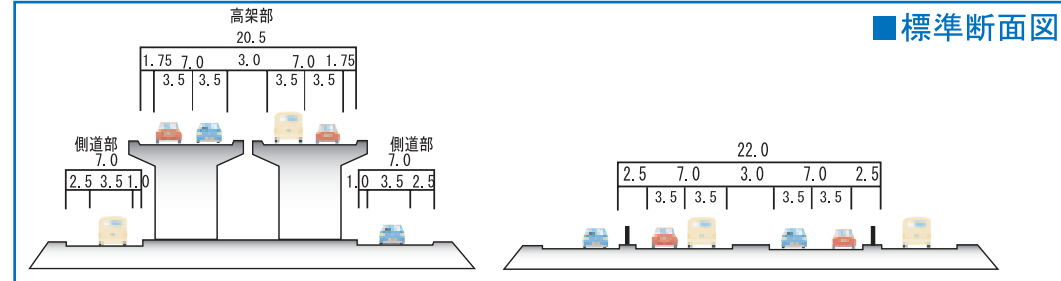
平成20年度については調査設計及び用地買収工事促進を図ります。



■設計緒元

道路規格	第1種	第3級
区間	読谷道路 自：読谷村親志 至：読谷村古堅	嘉手納バイパス 自：読谷村古堅 至：嘉手納町兼久
延長	6,000m	3,200m
設計速度	V=80km/h	
車線数	4車線	

■標準断面図

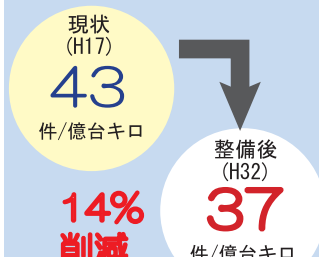


■期待される効果

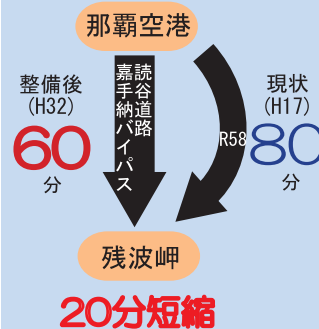
国道58号現道部の渋滞が緩和され、渋滞損失時間が削減！



国道58号現道部の安全性が向上し、死傷事故率が削減！



那覇空港～残波岬間の所要時間が短縮！



※整備効果算出結果より

読谷道路平成15年度一部供用区間
(平成19年)

改築調査

地域高規格道路
浦添北道路



浦添北道路については国道58号の混雑緩和、物流機能の向上等を目的としており、平成6年度に地域高規格道路に指定されました。

平成20年度には、用地買収の促進を図ります。



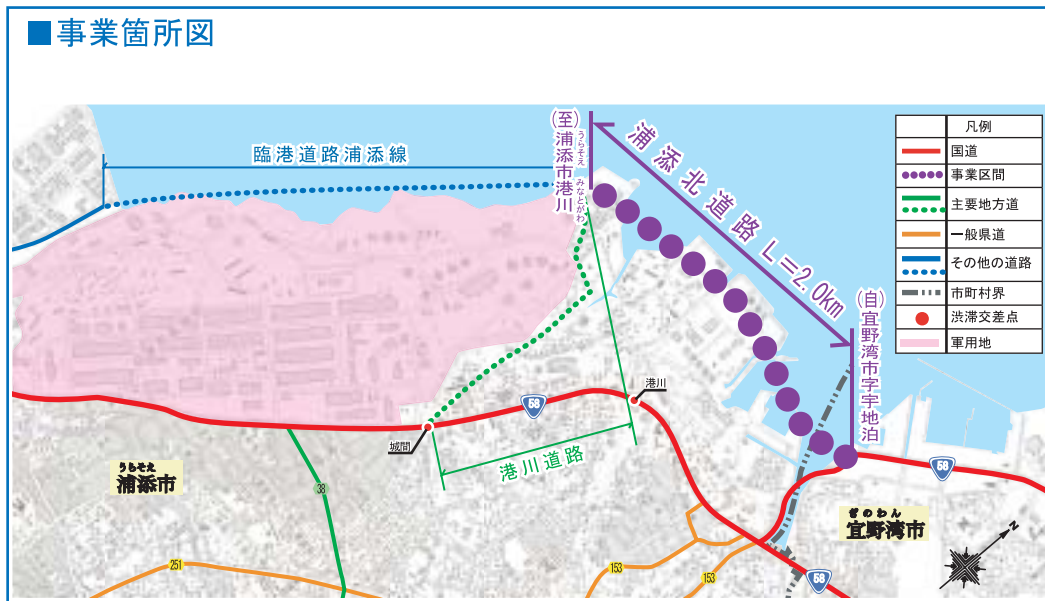
浦添北道路位置



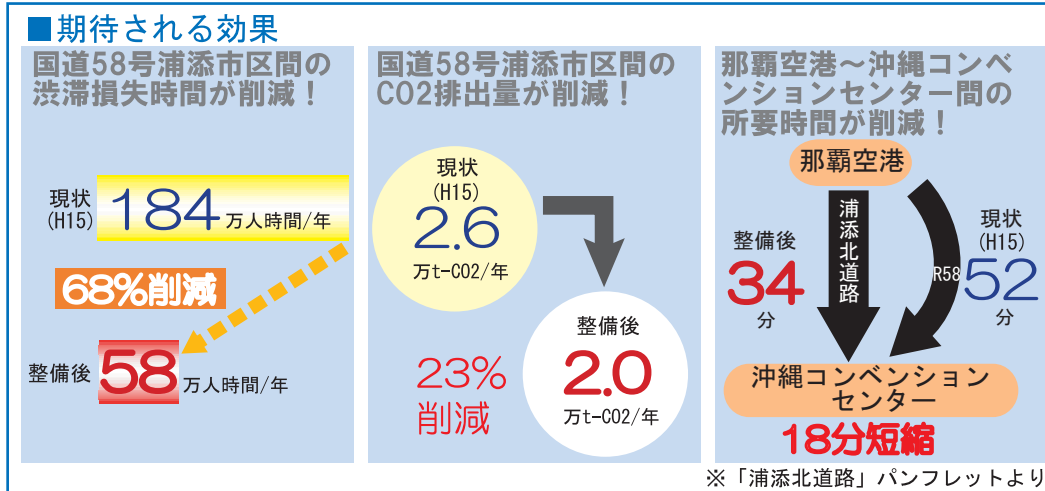
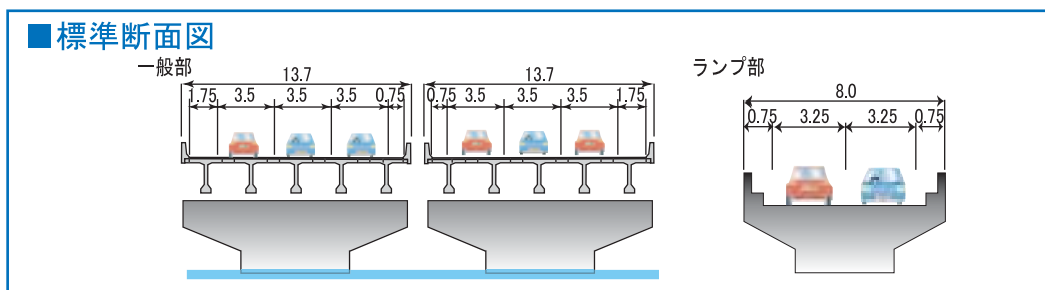
港川交差点周辺渋滞状況（平成16年）



完成予想図



■設計緒元	道 路 規 格	第1種 第3級
	区 間	自：宜野湾市字宇地泊 至：浦添市港川
	延 長	2,000m
	設 計 速 度	V=80km/h
	車 線 数	6車線



※「浦添北道路」パンフレットより

改築調査

地域高規格道路
那覇西道路

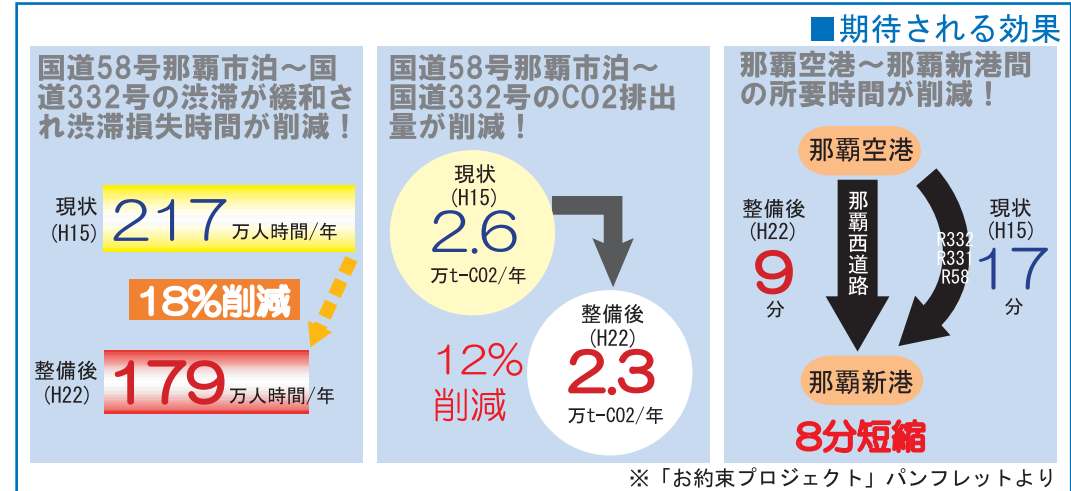
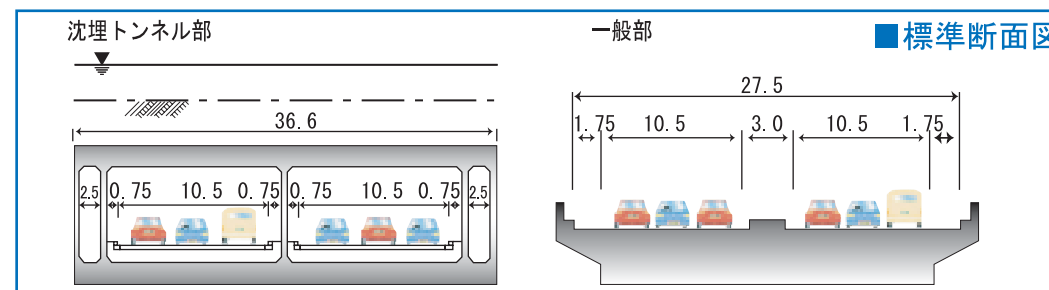


那覇西道路については、国道58号の混雑緩和、那覇空港へのアクセス向上、那覇港の機能向上等を目的としており、平成6年度に、地域高規格道路に指定されました。

平成19年度は、用地買収及び工事促進を図ります。



道路規格	第1種 第3級	■設計緒言
区間	自：那覇市若狭 至：那覇市鏡水	
延長	3,000m	
設計速度	$V=80\text{ km/h}$	
車線数	6車線	



※「お約束プロジェクト」パンフレットより



工事状況



泊交差点渋滞状況（平成16年）



完成予想図

地域高規格道路
豊見城道路

豊見城市～那覇市間の慢性的交通渋滞の解消を図るために計画されたものであり、平成6年度に地域高規格道路に指定され、平成19年3月には豊見城道路全線暫定供用を行いました。

平成20年度は本線部分の暫定供用に向けた工事促進を図ります。



平成18年度供用部分



平成17年度供用部分

改築調査

お約束プロジェクト対象事業

平成23年度末に
豊見城市豊崎地区立体化
約0.6kmを供用します

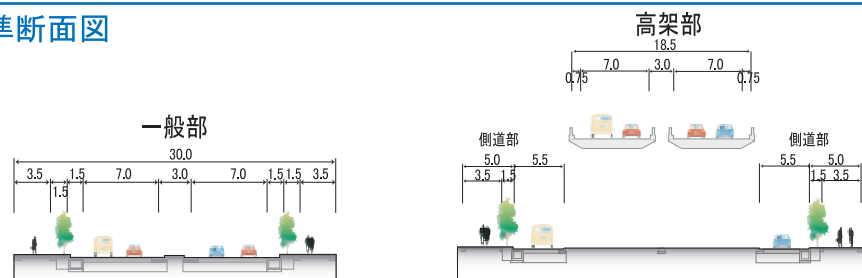
■事業箇所図



■設計緒元

道路規格	第4種 第1級
区間	自：豊見城市瀬長 至：糸満市西崎
延長	4,000m
設計速度	V=60km/h
車線数	4車線

■標準断面図

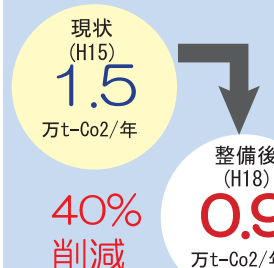


■期待される効果

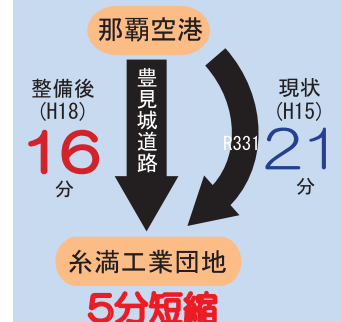
国道331号現道部の渋滞
が緩和され、渋滞損失
時間が削減！



CO2排出量が削減！



那覇空港～糸満工業団地
間の所要時間が短縮！



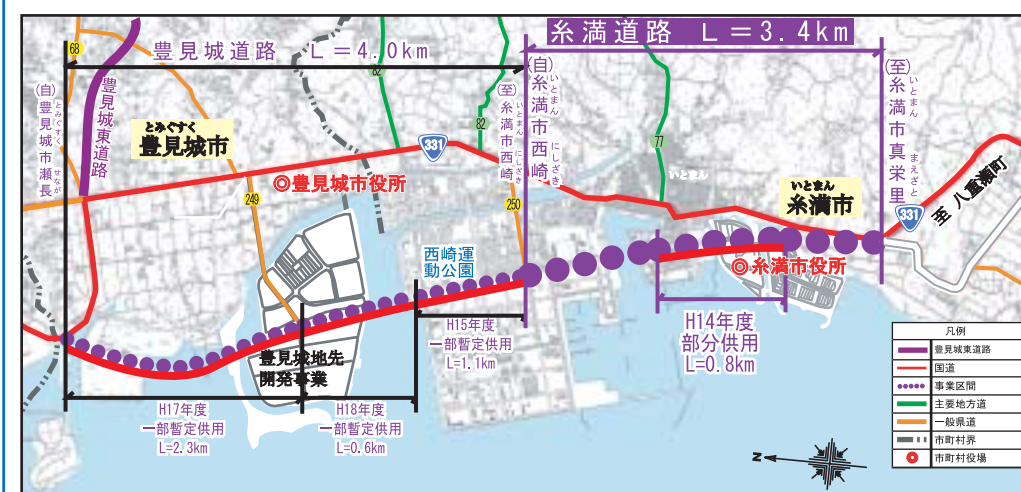
※「お約束プロジェクト」パンフレットより

お約束プロジェクト対象事業

平成23年度末に
糸満市西崎～糸満市真栄里
間約2.6kmを暫定供用します

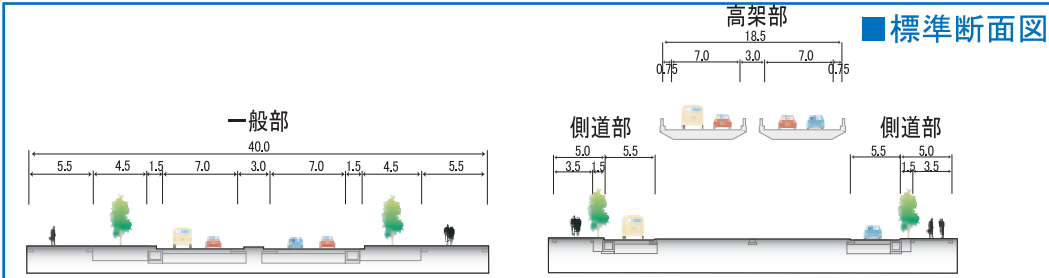
改築調査

■事業箇所図



道路規格	第4種 第1級
区間	自：糸満市西崎 至：同市 真栄里
延長	3,400m
設計速度	V=60km/h
車線数	4車線

■設計緒元

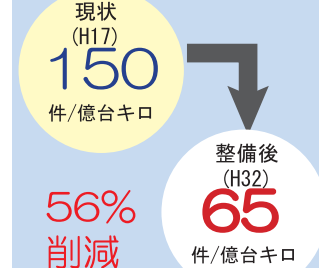


■期待される効果

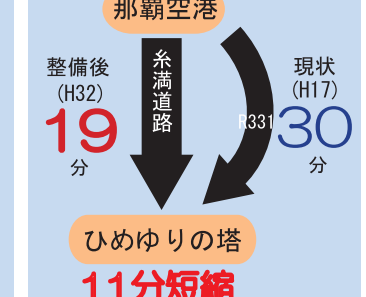
国道331号現道部の渋滞
が緩和され、渋滞損
失時間が削減！



国道331号現道部の安
全性が向上し、死傷事
故率が削減！



那覇空港～ひめゆりの
塔間の所要時間が
短縮！



※「糸満道路」パンフレットより

地域高規格道路
糸満道路

糸満市～那覇市間の慢性的交通渋滞の解消を図るために計画された延長3.4kmのバイパスであり、平成6年度に地域高規格道路に指定されました。

平成20年度は、用地買収及び工事促進を図ります。

渋滞状況
(国道331号兼城交差点：H17年)渋滞状況
(国道331号潮平交差点：H17年)

平成14年度供用部分

糸満道路完成予想図
(糸満高架橋航路部)

一般二次改築
与那原バイパス
南風原バイパス

一般国道329号の交通混雑の緩和、那覇都市圏のアクセス強化など幹線道路網の形成を目的として事業化されました。

平成20年度は用地取得及び工事促進を図ります。



渋滞状況（一般国道329号
与那原交差点周辺：H16年）



与那原バイパス
平成17年度部分暫定供用区間



南風原バイパス
平成16年度部分暫定供用区間



南風原バイパス
平成17年度部分暫定供用区間

改築調査

■事業箇所図

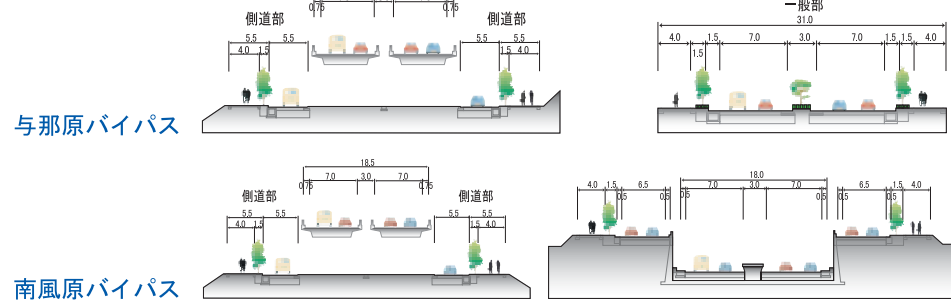


■設計緒元

南風原バイパス	
道路規格	第4種 第1級
区間	自：南風原町与那覇 至：那覇市上間
延長	2,800m
設計速度	V=60km/h
車線数	4車線

与那原バイパス	
道路規格	第4種 第1級
区間	自：西原町小那覇 至：南風原町与那覇
延長	4,200m
設計速度	V=60km/h
車線数	4車線

■標準断面図

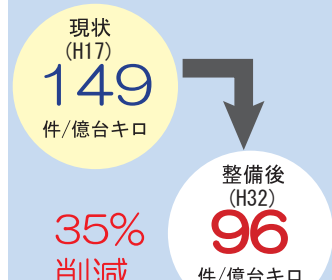


■期待される効果

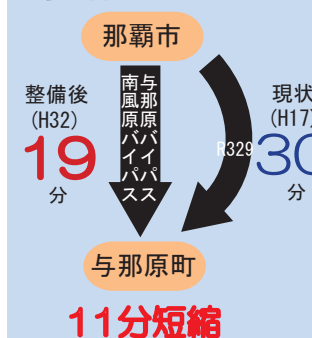
国道329号現道部の渋滞が緩和され、渋滞損失時間が削減！



国道329号現道部の安全性が向上し、死傷事故率が削減！



那覇市～与那原町間の所要時間が短縮！



※「与那原道路・南風原バイパス」パンフレットより

改築調査

一般二次改築
摩文仁改良

糸満市大度～八重瀬町字仲座間は平面線形が悪く幅員も狭小で、幹線道路としての機能が著しく低下し、島尻振興開発及び交通安全上大きな障害となっています。

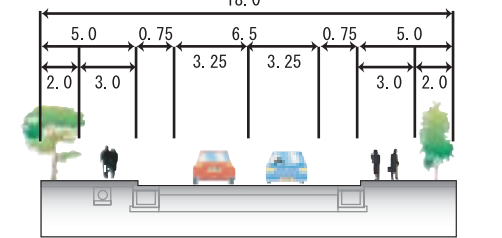
摩文仁改良は、平成5年度に交通安全対策事業として事業化されました。

平成20年度は、用地買収及び工事促進を図ります。

■事業箇所図



■標準断面図



■設計緒元

摩文仁改良	
道路規格	第3種 第2級
区間	自：糸満市大渡 至：八重瀬町仲座
延長	2,000m
設計速度	V=60km/h
車線数	2車線

■期待される効果

国道331号現道部の安全性が向上！

●現道の状況

見通しの悪いカーブが存在し、自動車走行時等の安全性が低い



国道331号
(糸満市摩文仁)

整備により

- 線形不良箇所の走行を回避！
- 現道部の交通量が削減され、地元住民の安全性も向上！



図 摩文仁改良完成イメージ

南部地域の観光に寄与！

- 豊かな観光施設を有する南部地域の周遊性が向上
- 街路樹の整備により、景観性が向上



現況

整備により



図 摩文仁改良完成イメージ



国道331号
(糸満市摩文仁：H18年)

一般二次改築
中山改良

南城市玉城字中山地区は、平面線形、縦断線形ともに悪い箇所が随所にあり、交通事故も多く発生しています。

中山改良はその交通安全対策事業として計画された延長2.08kmのバイパスで、平成2年度に事業化されました。

平成20年度は、用地買収及び工事促進を図ります。

改築調査

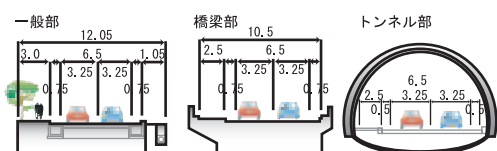
■事業箇所図



■設計緒元

道路規格	第3種 第2級
区間	自：南城市玉城字志堅原 至：同市 玉城字中山
延長	2,080m
設計速度	V=60km/h
車線数	2車線

■標準断面図



■期待される効果

国道331号現道部の安全性が向上！

- 現道の状況
- 見通しの悪いカーブが存在し、自動車走行時等の安全性が低い



国道331号
(八重瀬町中山)

整備により

- ◎自動車走行時の安全性が向上！
- ◎現道の交通量削減で日常生活の安全性が向上！



中山改良完成イメージ

南部地域の観光に寄与！

- 車中から太平洋が一望出来る等、景観性が向上
- 多くの文化財や観光レジャー施設を有する同地域の周遊性が向上



中山改良完成イメージ

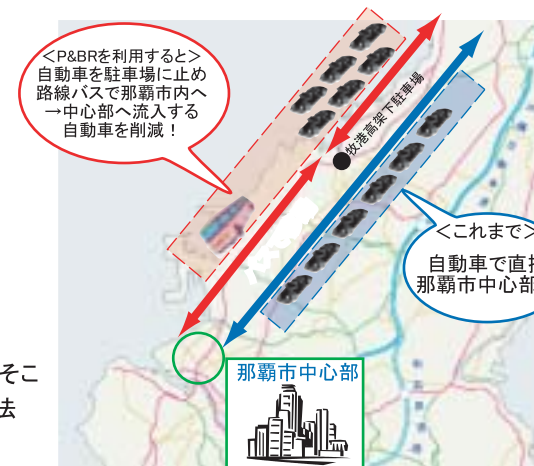
改築調査

住民協働で
実施する
取組

南部国道事務所では道路事業に加えて、住民と協働で実施するソフト対策や社会実験、住民ニーズを把握する為の各種調査など、様々な取組を推進しています。

パークアンドバスライド

公共交通機関の利用促進や中心部の渋滞削減による環境負荷の軽減などを目的に、国道58号宜野湾市宇地泊地区にてパークアンドバスライドを実施、多くの方に利用されています。



※パークアンドバスライド

郊外部の駐車場に自家用車を駐車し、そこからバスを利用して中心部へ移動する方法

モビリティ・マネジメント

那覇市への自動車利用の通勤者が多い国道58号浦添地区周辺の居住者を対象にした、公共交通機関に関する出前講座の開催や、レンタカー利用観光客へ公共交通機関のりつぎマップを配布するなど、公共交通機関の利用促進に向けた“モビリティ・マネジメント”を推進しています。



出前講座風景（H20年）

※モビリティ・マネジメント

個人のモビリティ(移動)が、社会にも個人にも望ましい方向へ、自発的に変化することを期待するものです。

たとえば、過度に自動車を利用する「クルマ中心」のライフスタイルから、モノレールやバスなどの公共交通や、自転車などの積極的な利用を促すなど、個人とのコミュニケーションを中心に働きかける交通施策です。

グループインタビュー調査

職業ドライバーや地元住民など利用者の視点から見た道路の問題点や改善点、また、道路に対するニーズを、直接対話により収集・把握を行うグループインタビュー調査を、平成15年度より導入し、積極的に推進しています。



グループインタビュー風景（H19年）

交通安全

交通安全

交通事故を抑制し、安心・安全で円滑な交通を確保する為に交差点改良や道路関連設備(道路標識など)といった取組を推進しています。

また、高齢者などをはじめとしたすべての人が快適に利用できる道路空間の整備に向け歩道整備やバリアフリー整備バス停整備等の取組を実施しています。

交通安全対策

道路交通の安全確保を図るため、歩道の新設・拡幅、交差点改良などの道路交通環境の整備や、交差点改良による渋滞対策を行っています。

(1) 一種事業

歩道整備、バス停整備、交差点改良等を行います。

歩道整備 (331号 南城市安座真)

整備前

整備後

(2) 二種事業

道路照明灯、防護柵、道路標識、道路情報表示装置、区画線等の設置を行います。

バス停上屋整備



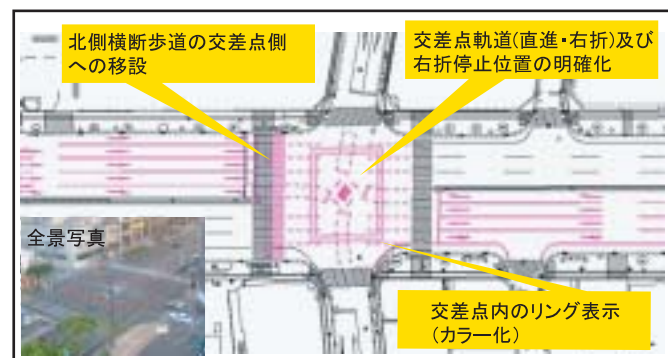
横断歩道橋整備 (329号 沖縄市美里歩道橋)

整備前

整備後

事故対策

道路事故の抑制を図る為、交差点改良などの事故対策を行っています。



国道58号 泊ふ頭入口交差点

用地

用地

道路事業の促進にあたっては事業用地の確保が大前提となります。県内における交通手段は、車両に対する依存度が最も高く、早急な道路整備が望まれており、幹線道路網整備のため高規格道路及び地域高規格道路等の事業用地の取得を行っています。

また、歩行者安全確保の見地から歩道等の交通安全施設の整備も必要となっております。

これらの事業に必要な用地の取得にあたっては「公共用地の取得に伴う一般補償基準」に基づき公平かつ適正に補償を行っています。

公共用地の取得にあたっては、土地所有者等と十分に話し合いを行い事業に対する理解と協力を得られるよう誠意をもって任意で協議を進めておりますが、どうしても任意で取得できない場合には、土地収用制度の活用による取得を行います。

道路は公共財産です。

これらの用地買収や

そのための補償を

行っています。

1 事業計画説明会



道路をつくる目的や計画の内容について説明を致します。

3 用地説明会



土地や建物、立竹木などについて調査の方法及び補償内容について説明いたします。

4 建物・工作物・立竹木等の調査



建物や工作物、立竹木等は所有者ごとにその種類、構造数量等について調査いたします。

6 協議



算定した補償金額を提示し補償内容をご理解いただけるよう、所有者及び関係者の方々に個別に説明いたします。

7 契約



用地協議が整いますと、土地建物の所有者及び関係者の方々と個別に契約いたします。

8 土地移転登記、物件の移転



譲っていただいた土地は、土地所有者等関係者の方々に必要書類を提出していただき当事務所で登記を行います。建物等物件の移転については各人で行っていただきます。

9 補償金の完了払い

所有者による建物等物件の移転が完了した後、起業者による移転完了等の確認が行われ土地の引渡し完了すると後金が支払われます。



管 理

道路を効率的に末永く利用していく為には、適切な維持管理を実施していくことが重要です。

また、台風の多い沖縄県では、防災対策や災害復旧といった防災面での対応も必要不可欠です。

さらに、観光立県である沖縄県では、景観に配慮した道路空間の確保や、地域住民と一体となった道路管理が重要です。

これら沖縄県の特徴を十分踏まえながら、管理業務を推進しています。

管 理

維持・管理

日常のパトロールなどを通じて、路面の応急処置や清掃、防護柵、標識などの修理、橋・トンネルなどの構造物の補修といった維持・管理業務を行っています。



日常パトロール



植栽管理



路面清掃



除草



構造物の補修



橋梁点検

防災対策

道路交通の安全性向上を図るために、防災対策が必要な地区において、法面工コンクリート擁壁工、防護策などの防災対策を実施し、より安全な道路空間の整備を進めています。

また、台風が多い沖縄県では、迅速な災害復旧も重要な業務となっています。



国道331号南城市玉城 災害状況



国道331号金城地区法面対策



国道329号西原地区法面対策



台風による災害状況



復旧作業



管 理

機 械

道路の維持管理を円滑に進めるため、パトロールカーをはじめ、標識車などの道路維持管理機械道路清掃機械などの車両を保有し、運行管理を行っています。

道路管理

工事標識車、路面清掃車など、道路の維持管理にかかわる車両を保守整備しています。

機械名	台数
連絡車	19
マイクロバス	1
パトロールカー	6
標識車	3
路面清掃車	4
散水車	4
側溝清掃車	2
配水管清掃車	2
リフト車	2



路面清掃車



工事標識車



パトロールカー



側溝清掃車

災害対策

災害対策車、排水ポンプ車などの災害対策用車両を保有し、万が一の災害に備えています。

機械名	台数
災害対策車	1
照明車	2
排水ポンプ車	1



災害対策車



排水ポンプ車



照明車

行政管理

● 道路の占用に関する事務
(32条、35条)

- ・電気、上下水道、ガス、電話看板等の許可事務
- ・不法占用物件の処理。

● 道路に関する工事の承認に関する事務 (24条)

- ・管理者以外の者が行う工事(出入口交差点の改良等)の承認事務。

行政管理

- ・電気、上下水道、ガス、電話看板等の許可事務
- ・不法占用物件の処理。
- ・管理者以外の者が行う工事の承認事務。

● 道路区域の決定及び供用開始に関する事務 (18条)

- ・道路区域の決定(道路を構成する敷地の幅員と延長)、供用の開始(道路として一般交通用に供することの意思表示)に関する事務。

● 道路損傷の処理に関する事務 (22条、58条)

- ・路面、付属物(ガードレール、照明灯、標識)等の損傷に伴う原状回復費用負担に関する事務。

● 道路構造保全に関する事務 (47条)

- ・道路との関係で必要とされる車両に関する許認可事務、指導取り締まり。

行政管理

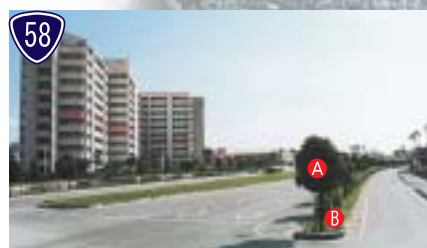
- ・警察等と協力し、特殊車両の取り締まり



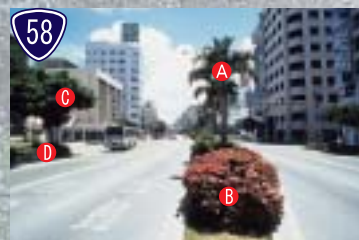
行政上の管理

道路を正しく安全に利用していただくよう、許可や承認といった行政上の管理業務を行っています。電気、上下水道、ガス、水道などの道路占用の許可や、特殊車両の通行許可や指導取締を実施しています。

南部国道事務所では
沖縄の道路を様々な樹
木や草花で沖縄らしさ
を演出するとともに
歩行環境や生活環境の
向上のために各種の植
栽を行っています。



3 宜野湾市大山付近
(A:リュウキュウコクタン・B:ゲッキツ)



4 那覇市松山付近
(A:トックリヤシモドキ・B:アカリファ C:アカギ・D:シャリンバイ)



2 那覇市旭町付近
(A:ガジュマル・B:オウゴンガジュマル C:フチベニタコノキ)



6 那覇市住吉付近
(A:モモタマナ・B:ハマヒサカキ C:キバナ台湾レンギョウ)



7 那覇市鏡水付近
(A:ガジュマル・B:ハネセンナ)



8 那覇市垣花付近
(A:コバノナンヨウスギ・B:トックリヤシモドキ C:シャリンバイ・D:オオバナアリアケカズラ)



9 那覇市宮城付近
(A:ベンガルボダイジュ・B:ミツヤシ C:ハイビスカス)



11 糸満市名城付近
(A:コバノナンヨウスギ・B:ハリツルマサキ)



5 読谷村喜名付近
(A:ヒロウ・B:ハイビスカス)



13 北中城村屋宜原付近
(A:ダイオウヤシ・B:キバナ台湾レンギョウ C:ハナツクバネウツギ)



14 北中城村瑞慶覧付近
(A:ダイオウヤシ・B:ハイビスカス)



12 浦添市西原付近
(A:台湾モクゲンジ・B:アカリファ C:リュウキュウコクタン)



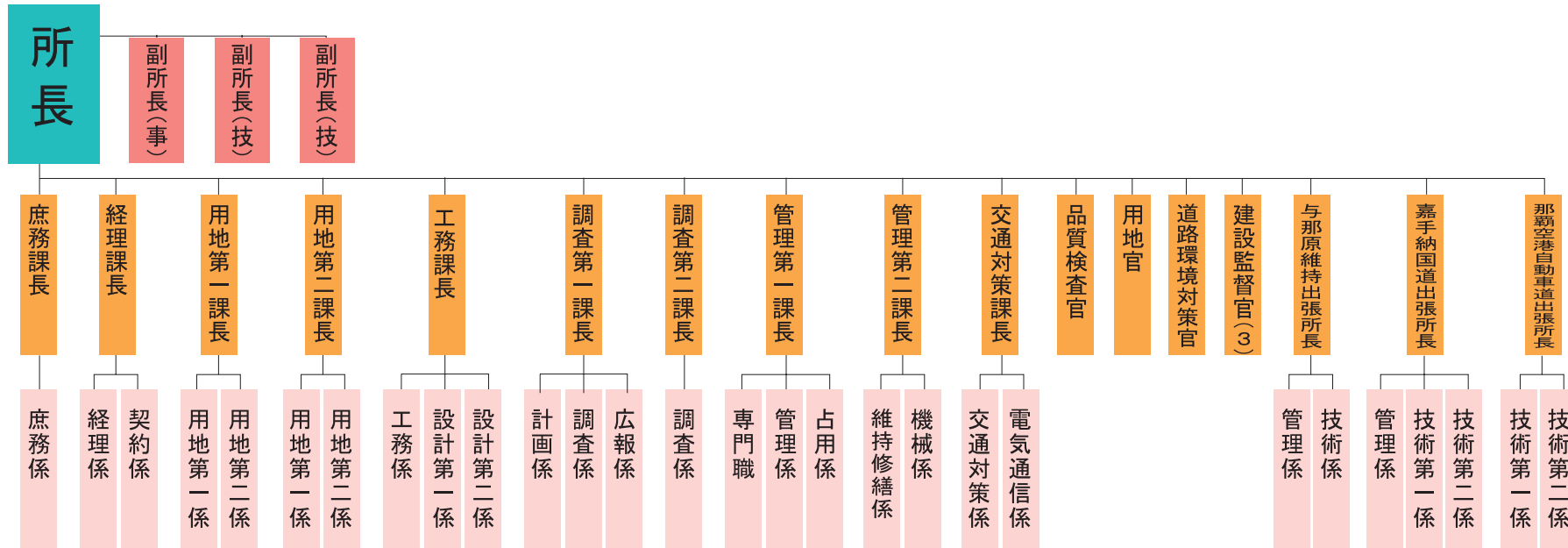
1 豊見城市真玉橋付近
(A:モモタマナ・B:ハマジンチョウ)



10 那覇市安次嶺付近
(A:トックリヤシモドキ・B:オウゴンガジュマル C:ガジュマル・D:ゲッキツ)



■ 事務所組織図

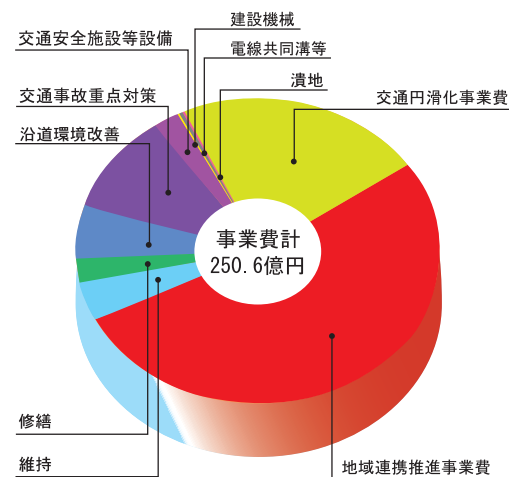


■ 事業費

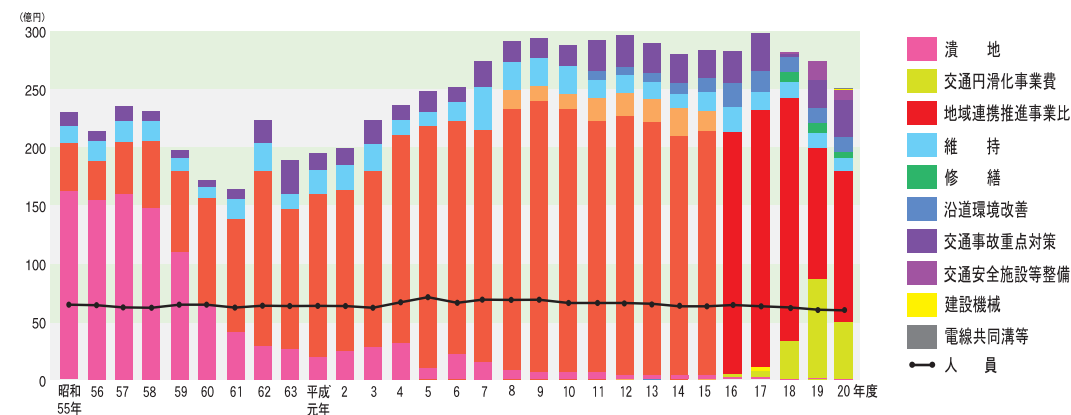
<平成20年度事業費(当初)>

項目名	億円	%
潰地	0.3	0.1
交通円滑化事業費	51.0	20.4
地域連携推進事業費	127.2	50.8
維持	11.7	4.7
修繕	6.1	2.4
沿道環境改善	13.2	5.3
交通事故重点対策	31.0	12.4
交通安全施設等整備	8.8	3.5
建設機械	0.5	0.2
電線共同溝等	0.8	0.3
合計	250.6	100.0

<平成20年度事業費構成>

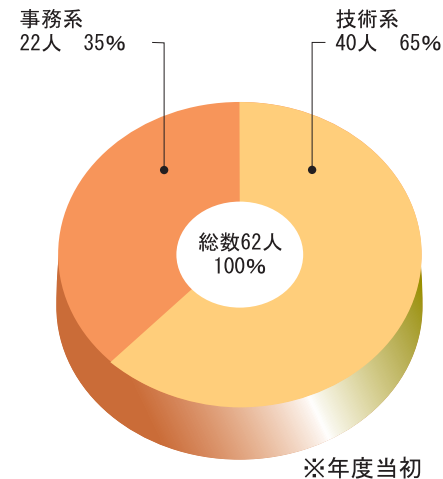


<事業費の推移>



■ 人員

<平成20年度人員構成>



<人員の推移>

年度	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6
職員数(人)	65	65	64	64	65	65	64	65	65	65	65	64	66	68	66

年度	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
職員数(人)	67	67	67	66	66	66	66	65	65	66	65	63	62	62

※年度当初

■ 事務所の沿革

- S47. 5. 15 本土復帰に伴い、沖縄開発庁沖縄総合事務局の出先機関として設置され、那覇市松山町1-2-4(トヨタビル3F)に事務所開所。所長、庶務課2係(庶務係、経理係)、工務課3係(工務第1係、第2係、管理係)の2課5係職員29名発令。
- S47. 6 那覇市与儀585番地に移転。
- S48. 4 庶務課に契約係設置、用地課及び同課用地係設置、工務課に交通対策係設置。用地官1名、建設監督官3名発令。
- S49. 7 建設監督官1名発令。
- S50. 4 新庁舎の完成に伴い現在地(那覇市港町2-8-14)に移転、副所長(事)設置。
- S51. 5 管理課、及び同課占用係、維持修繕係設置、工務課に調査設計係設置、建設監督官1名廃止。
- S52. 4 用地課に用地第2係設置、建設監督官1名発令。
- S53. 10 建設監督官1名廃止。
- S54. 4 用地課に用地第3係設置。
- S54. 10 工務課に設計係設置。
- S55. 4 管理課に機械係設置。
- S56. 4 那覇維持出張所設置に伴い管理課の占用係は管理係を吸収し、又、出張所に管理係及び技術係を設置。
- S57. 10 調査課、及び同課計画調査係設置。
- S59. 4 建設監督官1名廃止、副所長(技)設置。計画調査係を廃止し、計画係と調査係設置。
- S59. 10 特殊補償係設置。
- S61. 4 与那原町に出張所庁舎新築し、名称を「与那原維持出張所」に変更し、移転。
- S62. 10 嘉手納国道出張所を開設し、技術係を設置。
- S63. 10 用地官1名発令。
- H1. 10 建設監督官1名発令。
- H3. 10 工務課、設計係を廃止し、設計第一係、設計第二係設置。管理課に専門職1名発令。
- H4. 10 用地課を廃止し、用地第一課、用地第二課を設置。建設専門官1名発令。
- H4. 12 北谷町に嘉手納国道出張所庁舎、新築。
- H5. 4 管理課に電気通信係設置。
- H5. 10 那覇空港自動車道出張所を開設し、技術係を設置。
- H6. 10 調査課、調査係を廃止し調査第一係、調査第二係を設置。
- H6. 10 那覇空港自動車道出張所、技術係を廃止し技術第一係、技術第二係を設置。
- H7. 3 南部国道事務所災害対策室の設置。
- H7. 10 副所長(技)1名を2名に変更。
- H8. 10 交通対策課設置
- H9. 4 調査課を廃止し、調査第一課、調査第二課を設置。建設専門官1名廃止。
- H9. 10 経理課設置
- H10. 10 豊見城村字田頭に那覇空港自動車道出張所新庁舎完成・移転
- H11. 10. 1 嘉手納国道出張所に管理係を設置。技術係を廃止し、技術第一係、技術第二係を設置。
- H13. 1. 6 省庁再編に伴い、内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所(名称変更)。
- H16. 4 管理課を廃止し、管理第一課、管理第二課を設置。用地官1名廃止。
- H19. 4 品質検査官1人発令。調査第一課に広報係設置

■ 歴代事務所長

氏名	任期
千葉直治	S47. 5. 15～S48. 6. 10
加藤良一	S48. 6. 10～S49. 3. 31
唐沢 昭	S49. 4. 1～S51. 1. 31
辻 馨	S51. 2. 1～S53. 2. 28
遠藤倫平	S53. 3. 1～S55. 7. 31
友杉信男	S55. 8. 1～S57. 9. 30
菅野善朗	S57. 10. 16～S60. 6. 15
福田 實	S60. 6. 16～S62. 3. 31
小幡光俊	S62. 4. 1～S63. 2. 28
青板 武	H2. 4. 1～H4. 3. 31
川島美治	H4. 4. 1～H5. 9. 30
川路正行	H5. 10. 1～H8. 3. 31
広瀬 勇	H8. 4. 1～H10. 3. 31
富岡正弘	H10. 4. 1～H13. 5. 31
大宮貴治	H13. 6. 1～H15. 3. 31
小林 勲	H15. 4. 1～H17. 3. 31
緑川和由	H17. 4. 1～H19. 3. 31
和田祐二	H19. 4. 1～

沖縄県の 広域道路整備

将来の幹線道路網の姿を描いた計画として国、県の協力によって平成5年に沖縄県広域道路整備基本計画が策定されました。この計画の実現のため社会資本整備重点計画に即して道路整備を進めます。

※社会資本整備重点計画
国土交通省において策定する道路を含む9本の事業分野を一本化した社会資本整備計画

「ゆとり社会」実現のために

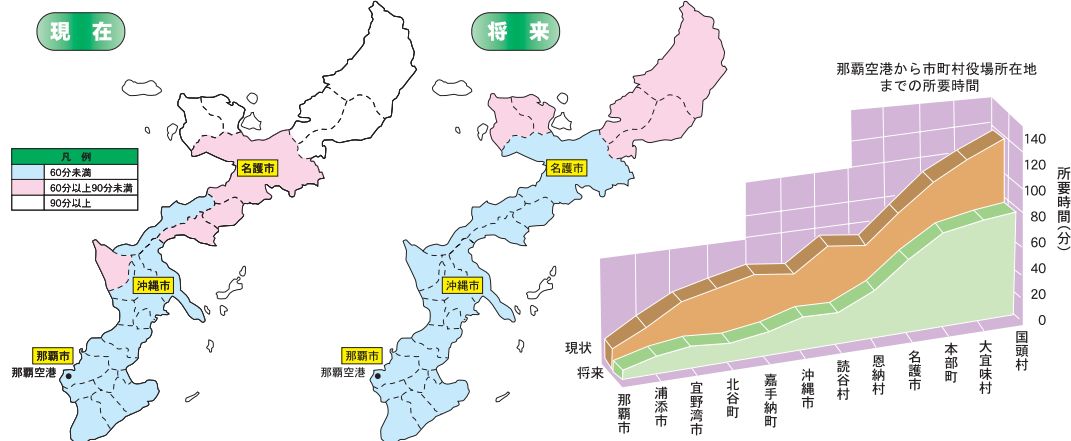
■基本方針

- 地域集積圏（中南部、北部圏）内の各地から圏域中心都市（那覇市、名護市）まで30分圏の確立
- 那覇市名護市間の1時間以内の連絡
- 圏域内拠点間連絡の強化
- 那覇都市圏のネットワーク形成
- 離島・過疎地の地域活性を図る道路整備を目標に致します。

中南部圏 那覇市 名護市 北部圏

圏域内各地から中心都市まで30分以内で連絡

■那覇空港から所要時間



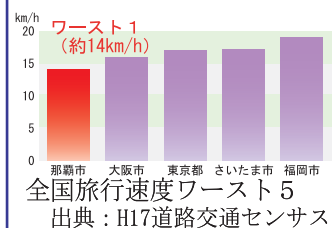
沖縄県広域道路網マスタープラン



＜那覇都市圏の現状の主な課題＞

幹線道路・主要交差点への交通の集中 ～経路の集中～

- 那覇都市圏の朝夕ピーク時の走行速度は東京都（特別区）や大阪市よりも遅く全国ワースト1
- 主要渋滞ポイントは、国道58号や国道330号、国道329号に集中



＜那覇都市圏の交通円滑化に向けて＞

経路の分散

2環状7放射道路の構築

- “経路の分散”に向け、多様なルート設定や道路容量の拡大を目指した、2環状7放射道路の構築や、交差点改良などを推進します。



2環状7放射道路整備イメージ

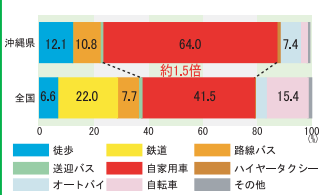
＜交通円滑化に向けた施策＞

－主な施策－

- ・浦添北道路
- ・浦添南道路
- ・那覇北道路
- ・那覇西道路
- ・宜野湾地区
- ・豊見城道路
- ・糸満道路
- ・豊見城東道路
- ・兼城交差点改良 等

通勤通学時の移動手段の自動車への集中 ～手段の集中～

- 沖縄県では、通勤・通学における自動車への依存度が高く。全国の自家用車利用割合の約1.5倍



通勤通学時移動手段手段別構成
出典：H12国勢調査

手段の分散

公共交通機関の利用促進

- “手段の分散”に向け、自動車からバスやモノレールへの手段の変更を支える施策を推進します。

車で中心部へ移動から・・・



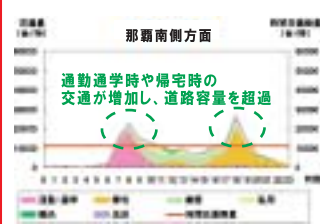
様々な方法で公共交通機関を活用！



手段の分散イメージ

通勤時など特定時間帯における交通の集中 ～時間の集中～

- 通勤・通学時や帰宅時には交通量が集中し、道路の容量を上回る交通が流動



那覇南断面の時間帯別目的別交通量
出典：H17道路交通センサス

時間の分散

移動時間を分散し集中を避ける

- 渋滞している時間を避け、その前後に移動時間を変える“時間の分散”に向け、時差出勤を推進します。



時間の分散イメージ

時間の分散イメージ

－主な施策－

- ・時差出勤

那覇都市圏 交通円滑化 総合計画

※那覇都市圏の渋滞の著しい
那覇都市圏の渋滞緩和や、交通の快適性・利便性の向上交通に起因する環境負荷の低減等を図る目的で“那覇都市圏交通円滑化総合計画”を策定し、各種取組の実施を推進しています。

※那覇都市圏
那覇市、浦添市、宜野湾市、豊見城市、南風原町、西原町の4市2町を対象

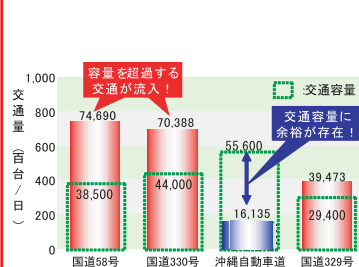
ハシゴ道路の構築

沖縄県における「道路のアンバランスな使われ方」や「那覇都市圏の深刻な交通渋滞」「東西分断による沖縄自動車道ICへのアクセス性の低下」等の交通問題を解消するために『ハシゴ道路』の整備を促進します。

現状と課題

道路のアンバランスな使われ方

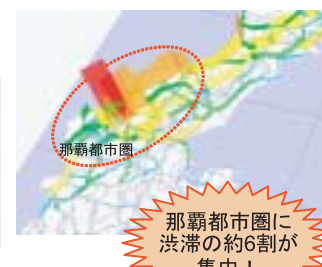
◆交通容量を超過する国道に対して、**沖縄自動車道には余裕が存在！**



那覇市～西原町の断面交通量
資料：H11道路交通センサス

深刻な交通渋滞

◆沖縄県の**渋滞損失時間の約6割が那覇都市圏で発生！**



キロ当たり渋滞損失時間 (H16年)

米軍基地による地域分断

◆**基地などによる地域分断から高速道路の利便性が低下！**

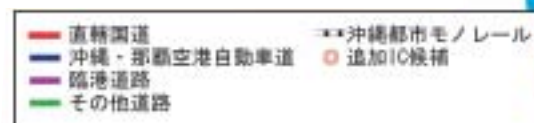


国道58号から沖縄自動車道ICへのアクセスルート

「ハシゴ道路」の整備計画

4つの要素を基本に「ハシゴ道路」の整備を実施

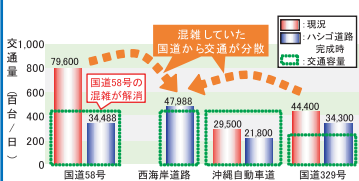
- ①南北を走る強固な『3本の柱』
～国道58号(西海岸道路を含む)、国道329号、沖縄自動車道～
- ②柱を支える『東西連絡道路』
～基地跡地の活用～
- ③高速を使いやすくするICの増設
～スマートICの整備～
- ④モノレールと高速バスの連携
～シームレスな乗換えの実現～



「ハシゴ道路」に期待される効果

道路のアンバランスな使われ方の改善

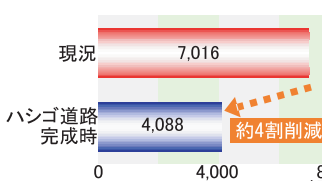
◆国道58号等の南北幹線道路の混雑緩和



那覇市～西原町の断面交通量

交通渋滞の改善

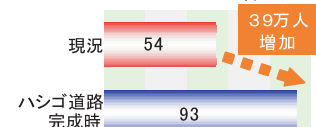
◆交通渋滞による渋滞損失時間が**4割削減！**



渋滞損失時間の推移

高速道路ICへのアクセス時間短縮

◆高速ICまでの所要時間の短縮により、高速道路の利便性が向上！
(高速ICまで10分で到着できる人口が39万人増加)



高速道路IC10分到達人口の推移

「沖縄ブロックの社会整備資本に係わる地域の将来の姿(案)」によるめざすべき将来の姿

活力：自立的経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり
安心：安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
環境：沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出
暮らし：特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり

利用満足度調査による県民のニーズ

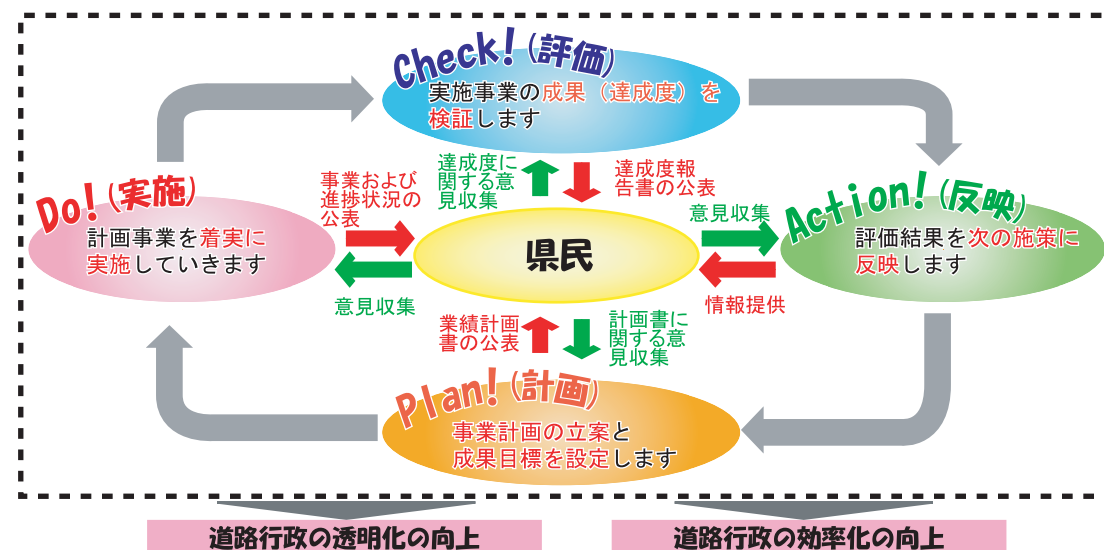
- 南部国道管内居住の道路利用者の6割以上が、今後の重点整備事項として「渋滞対策」を指摘しており、交通渋滞の緩和に高い関心
- また、「バリアフリー化」や「歩道整備」、「事故対策」といった安全性に関連した項目にもそれぞれ3割以上の指摘があり、道路環境の安全性に対しても高い関心。

沖縄地方道路懇談会からの提言

- 提言1: 連携・交流を支える幹線ネットワークの形成
- 提言2: 都市部の交通渋滞の緩和
- 提言3: 貴重な自然環境との調和
- 提言4: 人に優しい安全で安心な暮らしの創出
- 提言5: 個性豊かな地域づくりとの連携
- 提言6: 観光への支援と沖縄らしい景観の保全・創出
- 提言7: 県民参加と道路行政の転換

南部管内における道路整備の基本方針

- 方針1: 交通渋滞を緩和し、地域間交流を促進する道づくり
- 方針2: 安全で安心な道づくり
- 方針3: 沖縄の観光を支援する道づくり
- 方針4: 環境に配慮した道づくり
- 方針5: 開かれた道路行政



南部国道事務所では「成果主義」と「県民とのコミュニケーション」に基づいた“PDCAサイクルによる道路行政マネジメント（実施事業の評価・反省を、以降の施策・事業に反映させる仕組み）”による行政運営を進めています。

道路行政マネジメントの取組

「沖縄ブロックの社会整備資本に係わる地域の将来の姿(案)」による目指すべき将来の姿や道路利用者のニーズ、さらには懇談会の提言を踏まえ、南部国道事務所における道路整備の基本方針について、5項目を設定しています。

ボランティア サポート プログラム

地域や企業のみならず、
に道路の美化清掃等に
参加していただき
みなさんとともに快適
な道づくりや道路管理
を実施する取組である
“ボランティア・サポ
ート・プログラム”を
推進しています。

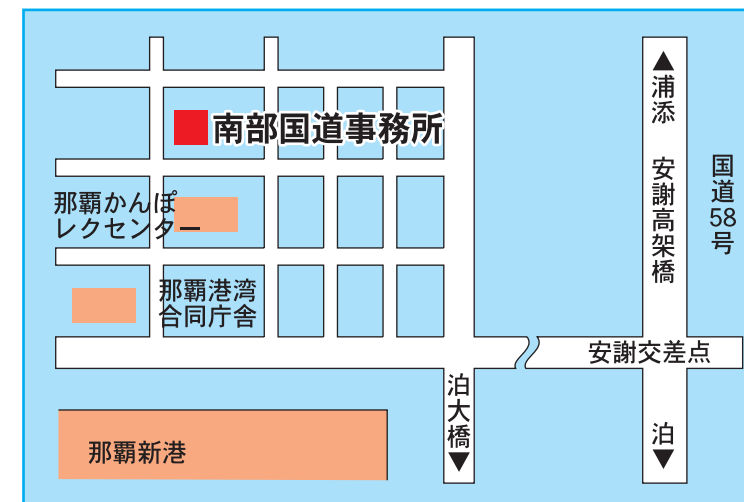


広報活動

南部国道事務所の取
組紹介や事業の概要
路上工事の情報など
最新情報を、南部国道
ホームページにて配信
しています。



[事務所・出張所のご案内]



内閣府 沖縄総合事務局

南部国道事務所

〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-8-14

TEL 098-861-2336

■与那原維持出張所

〒901-1302

沖縄県島尻郡与那原町字上与那原346-1

☎098-945-3011



■嘉手納国道出張所

〒904-0111

沖縄県中頭郡北谷町字砂辺282-1

☎098-936-7033

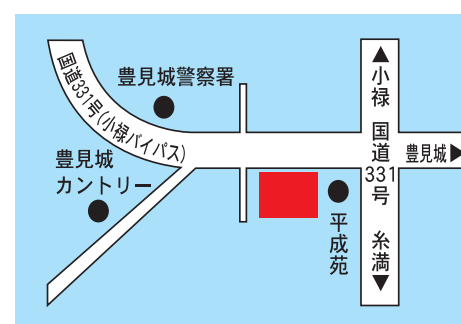
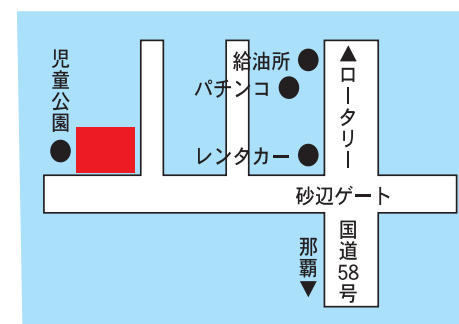
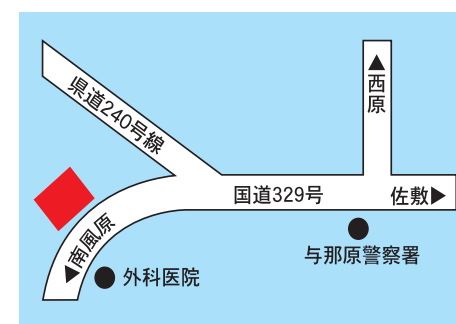


■那覇空港自動車道出張所

〒901-0234

沖縄県豊見城市字田頭165番地

☎098-852-2087



●南部国道事務所ホームページでは、道路に関する様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

ホームページは「南部国道」で検索！

南部国道

検索

<http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/>

●携帯電話からでもホームページをご覧になれます。

バスの現在位置情報（バスロケーションシステム）や、道路規制情報などがご覧いただけます。日々の生活やカーライフにお役立て下さい。

-携帯版ホームページアドレス-

<http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/nankoku01/ktai/index.html>

